

# 2011年度報告の総括と次年度の目標

		Plan
主な活動テーマ		2011年度目標
CSR方針 と体制	CSR推進体制と浸透	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職制別、各階層別集合研修等を継続し、CSR意識の向上を図る</li> <li>● 事業所ごとの目標と実績を活用し、PDCAサイクルを加速。取り組みレベルをさらに向上させる</li> </ul>
	コンプライアンス・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各支店のマネジメント状況を検証。各種ツールの運用で、従業員全員のコンプライアンス意識を一層向上させる</li> <li>● 人権擁護について、引き続き事業所の責任者がリーダーとなり、働きやすい自由闊達な職場風土をはぐくむ取り組みに注力する</li> <li>● 内部統制システムの運用徹底、リスクマネジメントの強化に引き続き取り組む</li> </ul>
	社会とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サステナビリティレポートを活用した意見交換会などのステークホルダーとの対話機会を創出</li> </ul>
お客様 のために	お客様満足の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーナー様とのコミュニケーションを強化、さらなるお客様満足向上を目指す</li> </ul>
	サステナブル社会の実現と住宅の長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーナー住宅買取再生事業「エバーloop」の理解・浸透を図り、資源の有効活用と住宅の長寿命化、既設住宅の取引市場の形成に貢献する</li> <li>● 環境に配慮した創エネ・省エネリフォームを積極的に推進。当社物件、一般物件とも一層の事業拡大を図る</li> </ul>
	安全・安心・快適な住まいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「いつもいまが快適」をテーマに、あらゆる世代を通じて、誰もが使いやすい心地よい「スマートUD」の住まいづくりを推進</li> <li>● 「納得工房」「住まいの夢工場」などの体験型学習施設を有効活用し、安全・安心・快適な住まいづくりをサポートする</li> <li>● 環境配慮型賃貸住宅「シャーマゾン グリーンファースト」の拡販に注力し、年間1200棟の受注、全体の25%を目指す</li> </ul>
	コミュニティの形成と地域文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「まちなみ参観日」「隣人祭り」の開催地を増やし、地域住民によるコミュニティづくり、地域文化継承をサポート</li> </ul>
従業員、 取引先 のために	従業員とともに	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「人材サステナビリティ」宣言に基づき、より一層「従業員が幸せを感じ、いきいきと仕事ができる企業集団」となるよう職務面談、評価制度の改訂等の施策を実行</li> <li>● 女性が成果を出しながら、いきいきと働き続けることができる環境の整備と意識改革による女性活躍のさらなる推進</li> <li>● 社内諸制度の利用を促進し、多様な人材の活用を進める。障がい者雇用は喫緊の課題として取り組む</li> <li>● 労務管理コンプライアンスを徹底し、多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを支援する</li> <li>● 各事業所の安全衛生委員会の積極活用等により労働安全衛生を一層推進する</li> </ul>
	協力工事店、取引先とともに	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取引先との健全な関係を継続するため、グループ会社を含めて、「企業倫理要項」等のルールを徹底する</li> </ul>
株主、 地域社会 のために	株主とともに	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中長期にわたる高い利益配分の実現と経営の健全性を維持するため、中期的な平均配当性向40%を確保 2011年度は中間配当10円、期末配当10円の通期20円を予定</li> </ul>
	住文化向上・教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域に開かれた企業として、自社の施設やノウハウを生かして、住文化の向上に注力する</li> <li>● 体験型学習施設などを利用した教育貢献活動をさらに充実させ、授業での講師派遣や職場体験の受け入れを拡大する</li> </ul>
	地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会貢献活動の情報発信、共有と内容のさらなる充実により全体的な取り組みレベルの底上げを図る</li> <li>● 「積水ハウスマッチングプログラム」第6回は29団体へ1566万円を助成予定 従業員の活動理解と参加を促進</li> </ul>



Do	Check	Action
2011年度の活動内容	参照ページ 評価	2012年度目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>e-ラーニングを活用し、従業員一人ひとりのCSR活動の実践につなげた</li> <li>CSRへの取り組みの各分野における目標と実績を検証し、改善活動を推進することにより事業所ごとのレベル差を改善できた</li> </ul>	P.33	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合研修、e-ラーニングを継続し、CSR意識の向上を図る</li> <li>引き続き事業所ごとの取り組みレベルをさらに向上させる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>全従業員から「企業倫理要項」等を遵守する旨の誓約書を取得「ガバナンス意識調査」を実施し、マネジメントスタイル気付きのツールとして実践的に活用</li> <li>事業所長が全従業員に対しヒューマンリレーション研修を実施セクハラ・パワハラ相談窓口について全事業所に担当者を配置しスキルアップを図った</li> <li>新しい業務ルールを適正に運用。2011年度にコンプライアンス上の大きな問題は発生しなかった</li> </ul>	P.36	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種ツールの運用で、従業員全員のコンプライアンス意識を一層向上させる</li> <li>引き続き、事業所責任者の率先垂範による自由闊達な職場風土づくりに注力</li> <li>「内部統制システム」の運用徹底、リスクマネジメントの強化に引き続き取り組む</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「ゼロエミッションセンター」「サステナブル デザイン ラボラトリー」「観環居」などでサステナブルな暮らしについて、多様なステークホルダーとさまざまなコミュニケーションを実施</li> <li>「Netオーナーズクラブきずな」は月2回のコンテンツ更新で情報の鮮度を向上オーナー様向け情報誌の定期発行とアンケートの実施、分析、改善</li> </ul>	P.06	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学会、フォーラム等の開催継続とサステナビリティレポートを活用したステークホルダーとの対話機会創出</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>当社グループの連携を高め、買取り実績は累計171件</li> <li>リフォーム実績が増加。当社物件、在来木造等の一般物件リフォーム等も含めると売上合計で1021億円の実績(前期比11.7%増)</li> </ul>	P.58	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エバーループ」の理解・浸透を図り、既設住宅の取引市場の形成に貢献</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「第5回キッズデザイン賞」で7項目を受賞し、多彩な取り組みが評価された。「高遮音床システム(L-55)(SHAIDD55(シャイド55))」が優秀賞、「積水ハウスのLEDくらし」が審査委員長特別賞を受賞</li> <li>来場者数「納得工房」3万4291人、「住まいの夢工場」7万7826人、「住まいの家学館」7万8107人</li> <li>環境配慮型賃貸住宅「シャーマゾン グリーンファースト」の受注実績は業界最多の1239棟一括借上・管理室数48万9967室、入居率95.6%入居者向け総合サービス「MASTクラブ」会員は約46万6000人</li> </ul>	P.75	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが使いやすい心地よい「スマートUD」の住まいづくりを推進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回開催の「まちなみ参観日」で戸建住宅123会場631棟、マンション9会場139戸を供給「隣人祭り」を83回開催</li> </ul>	P.05	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーナー様とのコミュニケーションを強化さらなるお客様満足向上を目指す</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員が使いやすい、納得度を高めるべく、評価制度を一部改訂企業理念に基づく活力あふれる組織風土がさらに強化されつつある</li> <li>女性営業職で優秀な業績を挙げながら、結婚、出産、育児を経験した従業員が徐々に増加女性管理職も増加し、グループで34人となった</li> <li>職群転換制度により8人が職群転換。退職者復職登録制度については、7人が復職障がい者雇用率は1.75%となった</li> <li>女性育児休業取得者は87人から121人に、短時間勤務制度の利用者は164人から173人へ増加また研修により、働き方の変革や業務改善による生産性の向上を促進</li> <li>業務災害30件(前年度比12件減)、通勤災害18件(6件増)メンタルヘルスを重要テーマとしたヒューマンリレーション研修を実施</li> </ul>	P.47	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電リフォームに特に注力し、低炭素社会の実現に寄与</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「第5回キッズデザイン賞」で7項目を受賞し、多彩な取り組みが評価された。「高遮音床システム(L-55)(SHAIDD55(シャイド55))」が優秀賞、「積水ハウスのLEDくらし」が審査委員長特別賞を受賞</li> <li>来場者数「納得工房」3万4291人、「住まいの夢工場」7万7826人、「住まいの家学館」7万8107人</li> <li>環境配慮型賃貸住宅「シャーマゾン グリーンファースト」の受注実績は業界最多の1239棟一括借上・管理室数48万9967室、入居率95.6%入居者向け総合サービス「MASTクラブ」会員は約46万6000人</li> </ul>	P.05	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験型学習施設を有効活用し、安全・安心・快適な住まいづくりをサポート</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>業務災害30件(前年度比12件減)、通勤災害18件(6件増)メンタルヘルスを重要テーマとしたヒューマンリレーション研修を実施</li> </ul>	P.46	<ul style="list-style-type: none"> <li>「シャーマゾン グリーンファースト」の拡販に注力し、全体の30%を目指す(環境目標に移行)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>全従業員対象に「下請法」に関する研修を実施サプライヤーとの双方向コミュニケーションを重視した改善活動を継続</li> </ul>	P.61	<ul style="list-style-type: none"> <li>「まちなみ参観日」「隣人祭り」の開催地を増やし、コミュニティづくり、地域文化継承をサポート</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>通期の1株当たり配当金は20円となった株主優待制度として引き続き、株主優待ポイント制度および贈呈制度を実施</li> <li>「すまい塾」472人受講。「Webすまい塾」申込381件、産学連携と大学間の交流を図る「住空間ecoデザインコンペティション」は全国50大学から187作品の応募</li> <li>学生の見学者数:「納得工房」「住まいの夢工場」「住まいの家学館」で計6475人。「新・里山」での小学生・幼稚園児の農作業体験を実施。「いえコロジー」セミナーなど3プログラムを継続実施</li> <li>従業員からの災害義援金など8545万円。SELP製品をノベルティとして2万8452個採用障害者週間行事を行政、経済団体、NPO、他企業と共催</li> <li>東日本震災遺児を経済支援する「もも・かき育英会基金」を新たに設置、1回目として750万円を寄付こども基金、環境基金の第6回は29団体へ1566万円助成。第7回は124プログラムが応募</li> </ul>	P.67	<ul style="list-style-type: none"> <li>より一層「従業員が幸せを感じ、いきいきと仕事ができる企業集団」となるよう多面的に取り組む</li> <li>女性が成果を出しながら、いきいきと働き続けることができる環境の整備と意識改革推進</li> <li>社内諸制度の利用促進と、多様な人材活用を進め、障がい者の採用は喫緊の課題として取り組む</li> <li>労務管理コンプライアンスを徹底し、多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを支援する</li> <li>引き続き各事業所の安全衛生委員会の積極活用等により労働安全衛生を一層推進する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>全従業員対象に「下請法」に関する研修を実施サプライヤーとの双方向コミュニケーションを重視した改善活動を継続</li> </ul>	P.65	<ul style="list-style-type: none"> <li>取引先との健全な関係を継続するため、「企業倫理要項」等のルールを徹底</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>通期の1株当たり配当金は20円となった株主優待制度として引き続き、株主優待ポイント制度および贈呈制度を実施</li> <li>「すまい塾」472人受講。「Webすまい塾」申込381件、産学連携と大学間の交流を図る「住空間ecoデザインコンペティション」は全国50大学から187作品の応募</li> <li>学生の見学者数:「納得工房」「住まいの夢工場」「住まいの家学館」で計6475人。「新・里山」での小学生・幼稚園児の農作業体験を実施。「いえコロジー」セミナーなど3プログラムを継続実施</li> <li>従業員からの災害義援金など8545万円。SELP製品をノベルティとして2万8452個採用障害者週間行事を行政、経済団体、NPO、他企業と共催</li> <li>東日本震災遺児を経済支援する「もも・かき育英会基金」を新たに設置、1回目として750万円を寄付こども基金、環境基金の第6回は29団体へ1566万円助成。第7回は124プログラムが応募</li> </ul>	P.70	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期的な平均配当性向40%を確保。2012年度は、中間配当12円、期末配当13円の通期25円を予定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「すまい塾」472人受講。「Webすまい塾」申込381件、産学連携と大学間の交流を図る「住空間ecoデザインコンペティション」は全国50大学から187作品の応募</li> <li>学生の見学者数:「納得工房」「住まいの夢工場」「住まいの家学館」で計6475人。「新・里山」での小学生・幼稚園児の農作業体験を実施。「いえコロジー」セミナーなど3プログラムを継続実施</li> <li>従業員からの災害義援金など8545万円。SELP製品をノベルティとして2万8452個採用障害者週間行事を行政、経済団体、NPO、他企業と共催</li> <li>東日本震災遺児を経済支援する「もも・かき育英会基金」を新たに設置、1回目として750万円を寄付こども基金、環境基金の第6回は29団体へ1566万円助成。第7回は124プログラムが応募</li> </ul>	P.71	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に開かれた企業として、引き続き自社の施設やノウハウを生かして、住文化の向上に注力</li> <li>教育貢献活動をさらに充実させ、講師派遣や職場体験の受け入れを拡大</li> <li>情報発信共有と内容の充実により全体的な取り組みレベルの向上を図る</li> <li>第7回は、21団体に1660万円を助成従業員の活動理解と参加を促進</li> </ul>

【自己評価の基準について】 ○…目標を達成 △…達成できなかったが目標に近づいた ×…目標に向けた改善ができなかった

Plan

主な活動テーマ

2011年度目標

環境目標と実績

CO <sub>2</sub> 削減	居住時CO <sub>2</sub> 削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 太陽光発電システム搭載・戸建住宅1万2000棟契約</li> <li>● 燃料電池3500台契約</li> <li>● 開口部の断熱リフォーム面積 10万4400㎡、高効率給湯器の設置棟数 4800棟、太陽光発電システム設置棟数 2900棟、省エネバスリフォーム 4850セット (積水ハウスリフォームの取り組み)</li> <li>● 環境共生住宅建築戸数700戸</li> <li>● 省エネ生活普及教育活動を80回実施</li> </ul>
	事業活動、生産時のCO <sub>2</sub> 削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産及び輸送に関わる出荷㎡当たりのCO<sub>2</sub>排出量をそれぞれ2010年度比で3%削減</li> <li>● 夏季ピーク電力15%カット</li> <li>● 業務用車両更新時に低燃費車にシフト</li> </ul>
生態系保全	材料調達時の生態系への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「木材調達ガイドライン」の改定</li> <li>● 森林認証制度のCoC認証取得</li> </ul>
	住宅の植栽を通じた生態系保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年間植栽本数100万本</li> <li>● 生物多様性の大切さを伝える環境教育プログラム「Dr.フォレストからの手紙」を地域事業所との連携強化で継続実施</li> <li>● 「まちなみ参観日」販売物件で植栽を継続実施</li> </ul>
	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 網で区画を細分化し、鹿の食害を防ぐ「パッチ植栽」を継続実施</li> </ul>
資源循環	生産・施工時の資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出荷面積当たりの工場生産時の2010年度比3.0%削減</li> <li>● 生産・施工廃棄物のマテリアルリサイクル率90%</li> <li>● 電子Manifestoの運用を維持しつつ、今後も適正処理に努める</li> <li>● 軽量鉄骨戸建住宅(B型)の新築施工現場廃棄物発生量目安1200kg/棟</li> <li>● 木造戸建住宅(SW)の新築施工現場廃棄物発生量目安1500kg/棟</li> <li>● 重量鉄骨戸建住宅(βシステム)の新築施工現場廃棄物発生量目安1200kg/棟</li> <li>● 軽量鉄骨賃貸住宅(SHM)の新築施工現場廃棄物発生量目安1000kg/棟</li> <li>● データの精緻化により削減施策の実効性を判定。削減活動を加速</li> <li>● 評価システムのレベルを向上し、効率改善を図る</li> </ul>
その他	事務作業時の資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所購買担当者との勉強会を実施するなどし、グリーン購入率のアップを図る</li> </ul>
	化学物質の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商品レベルでの標準化など、さらなる普及促進に取り組む</li> </ul>
	従業員による環境行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「事業活動、生産時のCO<sub>2</sub>削減」と合わせて取り組む</li> </ul>



WEB関連項目

● 環境目標と実績

目標と実績の詳細はWEBに開示しています。

Do	Check	Action
2011年度の活動内容	参照ページ 評価	2012年度目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 太陽光発電システム搭載 戸建住宅 1万1222棟契約 前年度より全契約数の減少により、搭載棟数が減少。しかし搭載率は向上</li> <li>● 燃料電池搭載住宅5356棟契約 震災と電力不安を背景にプロパンガス地域を中心に大幅に受注を増やし、目標を53%上回る</li> <li>開口部の断熱リフォーム面積 5万6668m<sup>2</sup>、高効率給湯器の設置棟数 4189棟、 ● 太陽光発電システム設置棟数 2412棟、省エネバスリフォーム 3226セット リフォームエコポイント制度終了(7月)後は、積水ハウスリフォーム独自の「エコサポート」制度にてリフォーム取り組みを支援しましたが、目標の達成には至りませんでした</li> <li>● 環境共生住宅建築戸数421戸 年2回開催の分譲住宅フェア「まちなみ参観日」を中心に421戸の環境共生住宅を供給しました</li> <li>● 「いエコロジー」セミナーなど省エネ生活の普及を目的とした出張授業、セミナー等を50回実施</li> </ul>	P.45	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 太陽光発電システム搭載 戸建住宅1万2000棟契約</li> <li>● 燃料電池搭載住宅6000棟契約</li> <li>● 開口部の断熱リフォーム面積 74,400m<sup>2</sup>、高効率給湯器の設置棟数 4,700棟、太陽光発電システム設置棟数 3,500棟、省エネバスリフォーム 3,500セット</li> <li>● 新規建売分譲住宅における環境共生住宅認定割合100%</li> <li>● 節電・省エネ生活普及教育活動を積極的に推進(社会性目標に移管)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産に関わるCO<sub>2</sub> 7.0%削減、輸送に関わるCO<sub>2</sub> 0.4%増加 →生産・輸送合計 4.0%削減 生産に関わるCO<sub>2</sub>排出量は、静岡工場で実施した燃料転換(LNG化)と各工場で省エネ施策を進め、目標をクリアしましたが、輸送に関わるCO<sub>2</sub>排出量は、静岡工場での集中生産による他工場への転送輸送などが増加の要因となり、増加しました</li> <li>● 25.3%削減(7~9月:全社事務所) 東北・東京電力管内工場におけるピーク時使用電力量15%カットも達成しました</li> <li>● 車両台数削減とともに達成 車両台数3.7%削減。低燃費車率92.4%(前年比2.0%増)</li> </ul>	P.48	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出荷m<sup>2</sup>当たりのCO<sub>2</sub>排出量を ● 生産に関わるCO<sub>2</sub> 2011年度比6.2%削減 輸送に関わるCO<sub>2</sub> 2011年度比3.0%削減</li> <li>● 省エネ法努力目標の達成</li> <li>● 低燃費車率94% 低排出ガス車率98%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「木材調達ガイドライン」を改定 環境NGOとも連携して「木材調達ガイドライン」を改定しました。関係者に改定内容を周知するとともに、運用方法を検討していきます</li> <li>● 関係部署とともにCoC認証取得に対する検討を行いました 震災の影響もあり、自社工場におけるCoC認証については当初予定より遅れましたが、検討は続けています。具体的な開発案件に対してプロジェクト認証取得を進めました</li> </ul>	P.49	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新ガイドラインの本格運用</li> <li>● 森林認証制度のCoC認証取得</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 96万本 前年度比5.5%アップとなりましたが、目標には及びませんでした</li> <li>● 8回、479名に実施。 震災の影響もあり、実施校は前年の半数以下となりましたが引き続き実施します</li> <li>● 年2回開催の「まちなみ参観日」販売物件すべてで、「5本の樹」計画樹種を採用しました</li> </ul>	P.51	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年間植栽本数100万本</li> <li>● (社会性目標に移管)</li> <li>● 新規販売建売分譲住宅すべて「5本の樹」計画樹種を植栽</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● パッチ植栽の実施 年に2回実施予定。秋は、台風13号の影響で、実施を見合わせました</li> </ul>	web	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 春にパッチ植栽実施をします。(社会性目標に移管)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2010年度比 3.1%増加 浅井工場での木製品の内製化を進めたことと、バイオマス発電装置の不調が重なり、木くずが大幅に増加しました。今後は、バイオマス発電の稼働時間延長を進め、廃棄物削減だけでなく、購入電力削減にも努めます</li> <li>● 90.2% ● 廃石膏ボードのライン材化(プラタマパウダー)や廃瓦の利用(SHAIDD55の防振材や陶板外壁原料)等、自社リサイクルを進め、目標をクリアしました</li> <li>● 電子マニフェスト化率85%</li> <li>● 1365kg/棟</li> <li>● 1824kg/棟</li> <li>● 1856kg/棟</li> <li>● 1173kg/棟</li> <li>● 2010年11月 ICタグシステムの全国展開完了、2011年の実績は実測数値での把握</li> <li>● 評価基準の見直しとマニュアルの改訂 ツール類の充実や研修などを通じ維持管理に努める</li> </ul>	P.55	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2011年度比 3.0%削減</li> <li>● 100%</li> <li>● B型発生量目安として1200kg/棟</li> <li>● SW発生量目安として1500kg/棟</li> <li>● βシステム発生量目安として1200kg/棟</li> <li>● SHM発生量目安として1000kg/棟</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一部営業本部で担当者勉強会を実施。担当者の積極的な活動により、グリーン購入率を88.7%から93.0%へと前年度比で4.3ポイント向上させました</li> </ul>	web	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グリーン購入率95%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄骨系主力商品で、空気環境配慮仕様「エアキス」を標準化</li> </ul>	P.27	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一層の普及・拡大</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全社で夏季・冬季節電に対応 夏季・冬季とも国・電力会社からの要請を上回る節電実績となりました</li> </ul>	P.48	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 夏季・冬季を中心に節電取り組みを継続</li> </ul>

【自己評価の基準について】 ○・・・目標を達成 △・・・達成できなかったが目標に近づいた ×・・・目標に向けた改善ができなかった